

# 船木小だより



銚子市立船木小学校  
令和3年1月29日  
No.10  
(学校評価特別号)

12月に実施しました「学校評価 保護者アンケート」にご協力を頂き、ありがとうございました。アンケートの結果は別紙のとおりです。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために学校が臨時休業になり、6月からのスタートとなりました。また、子供たちが楽しみにしている学校行事や校外学習、部活動の多くが中止または規模縮小をせざるを得ない状況です。このような限られた中で、より良い教育活動を推進するために様々な工夫をしているところです。保護者の皆様から頂いた評価や貴重なご意見を真摯に受け止め、より良い船木小と健やかな児童の育成を目指し、学校経営の改善に生かしていきたいと思っております。これからも船木小の教育活動に一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## アンケート結果から

### 学校・家庭生活について

- 多くの児童は、「学校は楽しい」(92%)と回答し、保護者や教職員も児童が楽しく学校へ通っていると評価しています。コロナ禍で学校行事などが減少している中ではありますが、児童会が中心となつてなかよしタイム(全校縦割り活動)を行い、全校児童が交流しながら楽しい時間がもてるように工夫をしています。
- 学校や地域での元気な挨拶や返事については、児童や保護者はきちんとできていると評価しています。しかし、教職員は「挨拶や返事がもう少し大きな声できると良い」と感じています。3学期始業時に校長から「あいさつの3つのあ(相手より先に・相手の目を見て・明るく元気に)」の話をしました。また、昇降口にもポスターを掲示するなど、意識付けを行っています。
- 学校では係活動や清掃に一生懸命に取り組み、頑張っている様子が児童と教職員の評価からうかがえます。また、保護者も児童が行事を楽しみながら意欲的に取り組んでいると感じています。



### 授業や学習指導、特別支援教育について

- 教職員は、学習指導要領が示す「対話的、主体的で深い学び」を実現するために授業改善に努めています。例えば、ピラミッドチャートやベン図などの思考ツールを活用し、思考の視覚化と整理、話し合いの活性化などに取り組んでいます。また、分かりやすい授業を目指して、パソコンや視聴覚教材を積極的に活用するようにしています。その結果、98%の児童は「授業が分かりやすい」と感じています。さらに、今年度から小学校で必修となったプログラミング教育については、全学年で発達段階に応じた授業を行いました。児童は、「楽しい」「もっとやりたい」など、興味・関心をもちながら意欲的に取り組んでいます。
- 授業への取組については、90%前後の児童・教職員が「積極的な発表など前向きに取り組んでいる」と評価しています。保護者の評価はやや低く、もっと頑張ってもらいたいと願っているようです。
- 特別支援教育については、三者ともに、特別な支援や配慮が必要な児童も含め、「一人一人を大切にされた教育活動」を行っているという肯定的な評価をしています。



- ・**家庭学習**については、70%の児童が「学年に応じた家庭学習」ができていると自己評価していますが、昨年度（91%）より低くなりました。家庭での取組についても、保護者はもっと頑張ってもらいたいと思っているようです。学校では、家庭学習の手引きを配付し、学習の方法などを示しています。また、学期ごとに強化週間を設け、学習計画や内容の確認・アドバイスも行っていますが、さらに家庭と連携をして充実させていきます。
- ・**読書活動**については、学校では読書賞の授与や読みやすい本の購入など読書を奨励しています。しかしながら、多くの保護者は家庭での読書が十分でないと感じています。

### 道徳性の育成やいじめ防止について

- ・学校では、道徳科の授業を工夫したり、児童の**道徳性**の育成に力を入れています。ほとんどの児童や保護者は、思いやりや規範意識などの道徳性が身につけてきていると評価しています。
- ・**いじめ防止**については、教育活動全体を通じて児童の道徳性を養い、いじめに向かわない態度・能力を育成しています。また、いじめゼロアンケートや教育相談を行い、素早い対応を心がけています。そして、94%の保護者が、「学校はいじめ防止や適切な指導」に努めていると評価しています。

### 学校・家庭の連携について

- ・**児童や保護者との対応**では、教職員は、誠意をもって丁寧に対応するように心がけています。その結果、ほぼ全ての児童が、「先生方は親切に対応してくれる」と回答しています。今後も児童や保護者が話しやすく、遠慮なく相談できるように努めていきます。
- ・学校からの**情報発信**については、学級通信やホームページ、マチコミメールを積極的に活用しています。また、89%の児童が「学校での出来事や連絡などを家庭で話している」と回答しています。これらのことから、保護者は学校の様子や連絡事項を多様な手段で知ることができ、91%の保護者は適切な情報提供が行われていると評価しています。
- ・コロナ禍で保護者が来校することが減ってしまいましたが、87%の保護者が様々な場面で**学校に協力**していると評価しています。それは、「保護者は学校に協力的である」と全教職員が感じているところです。

### 健康や安全安心な学校について

- ・**体力づくり**については、ほぼ全ての児童と教職員が体育の授業や業間活動で体力づくりに取り組んでいると評価しています。しかし、例年ならば部活動の練習でも体力向上や運動への興味・関心を高めることができましたが、今年度は部活動が全て取りやめになりましたので、保護者はやや低い評価となりました。
- ・**安全安心な学校**については、地域や保護者の方々のご協力により、交通事故や不審者からの被害もなく、安全安心な登下校ができています。ありがとうございます。
- ・また、火事や地震・津波などの災害に対する避難訓練は、マンネリ化しないように工夫をして実施しています。今年度は防火扉を閉めての避難や、不審者侵入時の避難場所を変更したりしました。



### 教育活動について

- ・今回のアンケートでは、自由記述欄にも様々なご意見を頂きました。これらのご意見も真摯に受け止め、「学校の教育活動に満足」の評価が向上するよう学校運営の参考にさせていただきます。
- ・学校では今、教職員の働き方改革に取り組んでいます。子供たちに効果的な教育活動を持続的に行うとともに、教職員が心身ともに健康を保つことができる環境を整えるため、業務改善や意識改革を推進しています。特に、多くの保護者が望んでいる授業の充実のために力を集中できるよう、行事の精選やスリム化を図っていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。